

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
エステティック教育実践		エステティックマスター学科/1年	2026/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	90回	3単位(90時間)	必須	
授業の概要				
<p>【効果実証】お客様のご要望に合わせたプランニングを行い、継続的にトリートメントを提供した際の効果実証を行う。また、実際のサロン同様に、ホームケアアドバイスをお客様に実践して頂き、エステティックの効果を学ぶ。</p> <p>【学内サロン】サロン経営を学ぶ一貫として、学内サロンを運営する。集客、発注、メニュー決めなど全て学生主体で実践し、商品管理や経費管理についても学ぶ。お客様が喜んでリピートして下さるサロンとなるよう技術や接客も高める。</p> <p>【教育実習】 学内サロンでの経験を活かし、お客様に喜んでいただける技術や接客を講師アシスタントとして下級生へ指導することで指導力の向上を目指す。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>一連の開業準備から集客、商品管理、接客、技術の流れを実践することにより、将来的な管理職候補の育成を目指す。サロン運営を学生が主導となって考え実践する力を身につけ、お客様がリピートして来店していただけるようエステティックの継続的な効果を学び、来店管理を身に付ける。</p> <p>また、その経験を活かし、人材育成のための指導力を伸ばすことを目標とする。</p>				
回	テーマ	内容		
1～4	エステティック教育実践実習	効果実証(美容痩身学)(痩身技術)①		
5～8	エステティック教育実践実習	効果実証(美容痩身学)(痩身技術)②		
9～12	エステティック教育実践実習	効果実証(美容痩身学)(痩身技術)③		
13～16	エステティック教育実践実習	効果実証(美容痩身学)(痩身技術)④		
17～20	エステティック教育実践実習	効果実証(美容痩身学)(痩身技術)⑤		
21～24	エステティック教育実践実習	効果実証(美容痩身学)(痩身技術)⑥		
25～28	エステティック教育実践実習	効果実証(美容痩身学)(痩身技術)⑦		
29～32	エステティック教育実践実習	効果実証(美容痩身学)(痩身技術)⑧		
33～36	エステティック教育実践実習	効果実証(美容痩身学)(痩身技術)⑨		
37～42	エステティック教育実践実習	学内サロン①		
43～48	エステティック教育実践実習	学内サロン②		
49～54	エステティック教育実践実習	学内サロン③		
55～60	エステティック教育実践実習	学内サロン④		
61～66	エステティック教育実践実習	学内サロン⑤		

回	テ ー マ	内 容		
67～ 72	エステティック教育実践実習	学内サロン⑥		
73～ 78	エステティック教育実践実習	教育実習（講師アシスタント）①		
79～ 84	エステティック教育実践実習	教育実習（講師アシスタント）②		
85～ 90	エステティック教育実践実習	教育実習（講師アシスタント）③		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本スパ・ウエルネス協会 『スパセラピー』 『美容瘦身学』 『介護予防ウエルネス学』 『理論Ⅰ～Ⅵ』 『技術Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ』 ・ 筆記用具 ・ ノート ・ バインダー ・ 制服・ナースシューズ ・ 化粧品各種 ・ 衛生消毒備品 ・ タオル類 ・ その他、トリートメントに必要な機器・備品 		出席率 授業態度	20.0% 30.0%	実習・実技評価は学内サロン売り上げ目標に対する達成率とする。 出席率90%以下の場合、成績評価の対象外となるので注意すること。 遅刻・早退は10分まで。 遅刻・早退3回で欠席1回とする。 施術禁忌に当たるお客様にはを技術を行わない。分からない場合は担当教員に確認する。 事前に実習にふさわしい身だしなみ（制服着用、髪型）を整え授業に臨むこと。
		実習・実技評価	50.0%	